

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1585 号	氏名	永田 幸
学位審査委員	主 査	副 査	副 査
	宮崎 泰司	柳原 克紀	吉浦 孝一郎
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1) の細胞共培養によらない新たな感染モデルを確立しようとするもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>HTLV-1 の感染分子クローン (pX1 MT-M) をウイルス産生細胞株に導入しウイルス粒子を含有する培養上清を得、上清中のウイルスを種々の方法で確認した後にセルフリーの系によって各種細胞に感染させた。その後感染能を評価し、ヒト化マウスでの感染を評価しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で検討、解析した結果、本法によってウイルス粒子を多量に含む培養上清を得ることができること、この培養上清を用いると細胞株へのセルフリー HTLV-1 感染成立が示唆されること、感染はウイルスエンベロープ蛋白依存であること、コラーゲンに富んだ細胞外バイオフィルムと感染能との関連が見られること、ヒト化マウスでの HTLV-1 感染が成立することを明らかにしており、HTLV-1 感染機構研究への寄与と今後の進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は HTLV-1 ウイルス学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			